



Yale Schola Cantorum (イェール大学スコラ・カントールム合唱団) 合唱
サイモン・キャリントンによって2003年に設立されたイェール大学スコラ・カントールム合唱団は、イェール大学音楽学部および宗教音楽研究所の協力によって運営され、18世紀前半以前の古典音楽、および過去100年の近現代音楽を専門としている。全イェール大学からオーディションで選ばれた24人のメンバーからなる。2009年からは鈴木雅明を正指揮者に迎え、J.Sバハの合唱曲を中心に大学所在地のニューヘイブンやニューヨークで定期的に演奏を行っているほか、国内外での録音や演奏旅行も多い。これまでの客演指揮にはクシシュトフ・ペンデレツキやサー・ネヴィル・マリナーがいる。



Juilliard415 (ジュリアード音楽院古楽オーケストラ) 管弦楽
17世紀から18世紀の作品をオリジナルの姿で演奏する古楽器アンサンブルとして、2009年の設立以来、世界から高い評価を受けている。これまでにウィリアム・クリスティ、トン・コープマン、ハリー・ビケット、ニコラス・マクゲガン、クリストファー・ホグウッド、ジヨルディ・サバル、モニカ・ヒューゲットといった世界的な指揮者の下でリンカーンセンター、カーネギーホールなどニューヨークの有名ホールで演奏を行っているほか、国内外でのツアーも多い。団員は授業料免除の栄誉を与えられ、古楽器演奏に関する幅広い知識を学びつつ、ジュリアードが要求する卓越した技術と音楽への深い理解を兼ね備えた音楽家をめざし、日々研鑽に励んでいる



Photo: Borggreve

鈴木雅明 指揮

イェール大学とジュリアード音楽院の共演という歴史的コンサートの栄えある指揮者を務める鈴木雅明は、J.S.バハ演奏の世界的第一人者としてつとに高名である。バハ作品の本質を生き活きと表現するその演奏は他の追随を許さない。The Times紙(ロンドン)は「明快で抑制が効き、それでいて魂の躍動が感じられる彼の演奏に心動かされないことは不可能だ」と評している。鈴木はバハのモテット作品の一連の録音に対してドイツレコード批評家賞、Diapason d'Or de l'Année賞(仏)やBBCミュージックマガジン賞(英)を受賞している。また昨年6月、栄誉あるバハメダルを日本人として初受賞したことは、我々の記憶に新しい。

J.S.バハ 「ロ短調ミサ」

長年書き貯めてきた音楽を基にバハが最晩年に完結させたロ短調ミサは、間違いなく西洋古典音楽の最高傑作の一つである。数多くのバハの記念碑的作品の中にあって、この曲ほど音楽の可能性を深く追求し、バハの人生と作品を証するものはないだろう。作曲の理由は定かではない。ミサ曲の依頼が来るような状況では無かったし、バハの生前に演奏されることもなかった。全曲初演は19世紀半ばのことである。むしろ彼はこのミサ曲を、音楽をあらゆる意味で完成させたいという自分自身の欲求を満たすために書いたように思われる。バハは、バハという、世界がかつて知り得た最も偉大な音楽の才能の全てを後世に残したかったのであろう。ここにあるのは、音楽技法の極致であり、非の打ちどころのない様式美であり、完全な演奏を求める作品である。



公共交通機関をご利用ください

バスのご案内

・仙台駅前9番乗り場から「宮教大・青葉台行」または「青葉通経由動物公園循環」乗車、「東北大川内キャンパス・萩ホール前」で下車(乗車時間約15分) 徒歩3分
・仙台駅前16番乗り場から「広瀬通経由交通公園・川内(営)行」または「広瀬通経由交通公園循環」乗車、「川内郵便局前」で下車(乗車時間約15分) 徒歩7分